

同志社大学フォーミュラプロジェクト
支援者様

令和4年4月6日

同志社大学フォーミュラプロジェクト
2月・3月活動報告

新春の候、貴社におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。この度は、同志社大学フォーミュラプロジェクト（以下 DUFPP）の2月、3月の活動についてご報告させていただきます。
現在、当プロジェクトではスポンサー企業様・個人支援者様の御支援・御協力により活動を進めており、今年度の大会でより高い成績を獲得するための車両を作り上げるべく、設計製作を行っております。
そして、多大なるご支援していただいております企業の皆様、先生方、OB の皆様方に深く感謝いたします。今後とも宜しくお願い申し上げます。



図1. 21project の車両

1. 活動報告

エアロパーツの製作

2月、3月はエアロパーツの製作（メインウイング、翼端板、フラップの製作）を行いました。今年の製作ではVARTM樹脂を利用したことで、積層にかかる時間が大幅に短縮することに成功しました。また昨年度までは、3Dプリンタを利用して作成していたフラップをカーボンで積層をしたことにより、軽量化に成功しました。

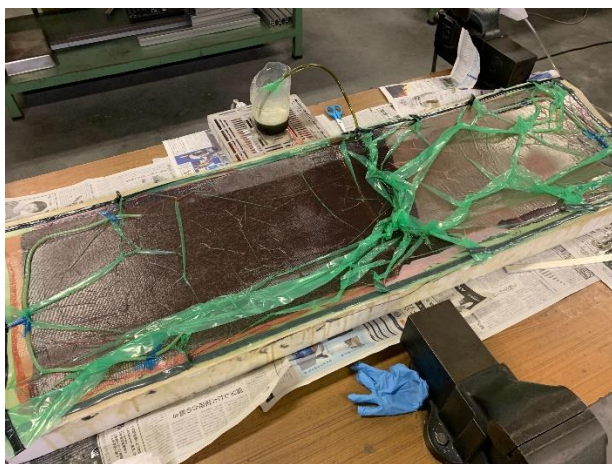


図 2.メインウイング積層の様子



図 3.フラップ積層の様子

エンジンダイナモでの作業

エンジンの燃調をあわせるためエンジンダイナモの使用を試みました。排気漏れやその他のトラブルがあり計測はできませんでしたが、エンジンの始動は確認できているので次回は新しいハーネスでの始動を確認したいです。

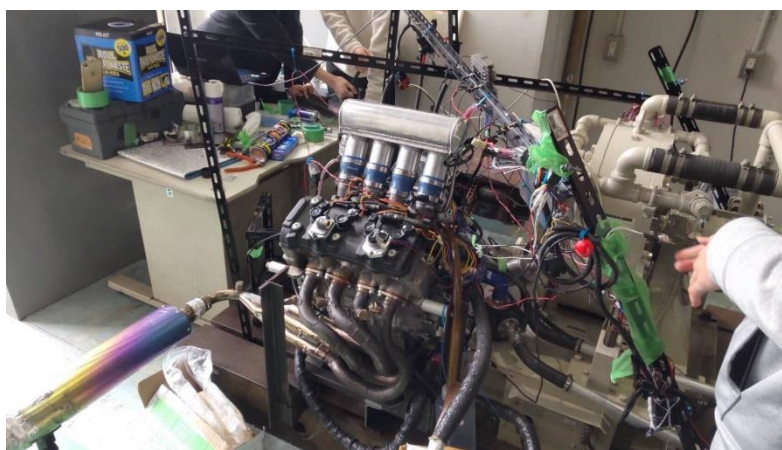


図 4.ダイナモ作業中の様子

フレームの完成

22project のフレームが完成しました。左右が対象となるように製作することや、丁寧に溶接することは大変難しく苦勞をしましたが、無事に完成することができました。現在は錆を防止するために養生テープを巻いています。

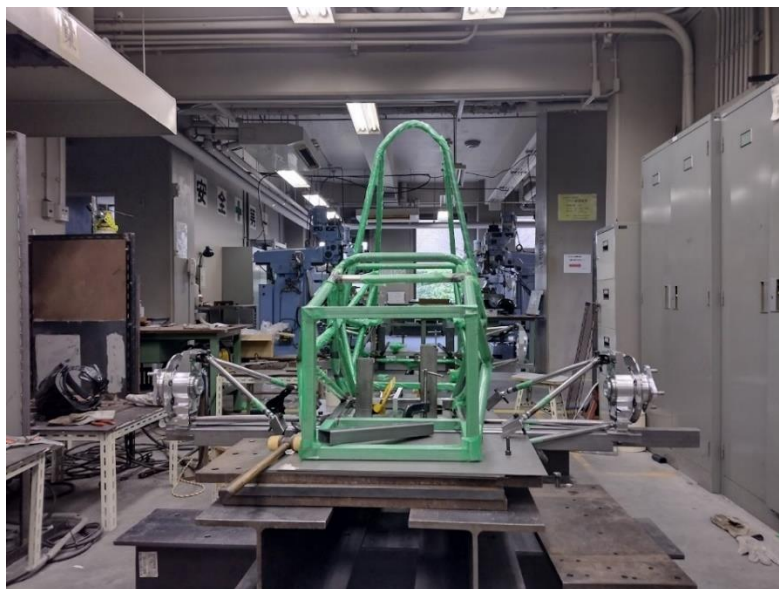


図 5. 完成したフレーム

足回り部品の完成

サスペンション班ではアーム・ベルクランク・ダンパー・アップライトなどの足回り部品が完成しました。今年はアンチダイブ・アンチスカットという新しい機構を採用したため、より製作精度が求められ非常に苦勞しました。今までの製作方法からの変更を行ったりして製作を完了することができました。



図 6. サスペンションアームとアップライト

2. スポンサー様

鬼頭歯車様にスプロケットハブのスプライン加工をしていただきました。

株式会社鬼頭歯車様に部品の焼き入れ、スプライン加工を行っていただきました。
大切に使用させていただきます。今後ともよろしく願いいたします。



写真 5. 加工をしていただいたスプロケットハブ

ヒロミツ製作所様よりアップライトをご支援していただきました。

ヒロミツ製作所様にアップライトのご支援をしていただきました。

ご支援していただきありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。



写真 4. ヒロミツ製作所様との写真

スポンサー様一覧



3. 今後の活動予定

4月3日～ 新入生歓迎期間

4月4日 車両自立

4月29日 シェイクダウン

4. 最後に

弊チームは今年度より新たな試みを行っており、再設計を行う必要のある部品が多くある中、部員一人一人が役割を持って製作に取り組んでおります。今後の目標としましては自立やシェイクダウンがあり、これらの目標に向けてより一層奮闘してまいります。

気温が少しずつ上がり、体調を崩しやすくなる季節となりますが、

これまで通り感染対策や体調管理をしっかりと行い日々精進してまいります。

今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

同志社大学フォーミュラプロジェクト (DUFPP)
2022年度プロジェクト総務 野口 創太

〒610-0394

京都府京田辺市多々羅都谷 1-3 同志社大学

URL : <http://dufp.racing>

E-mail : cguf5056@mail4.doshisha.ac.jp
